

第79号

# 酪農とちぎ



ふれあい牧場デントコーン+ソルゴー（混播）収穫作業風景

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 組合長就任挨拶
- 3 ページ 新役員紹介
- 4～5 ページ 東西南北（各支所）
- 5～6 ページ 部課だより（業務部）
- 7 ページ 部課だより（生乳販売課）
- 8 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績



# 組合長就任挨拶

代表理事組合長 坂主 正



今般、菊池組合長が関東生乳販売農業協同組合連合会の会長に就任されたことで、急遽ではありましたが理事の皆様より推挙され組合長になりました坂主正でございます。5年前に前相馬副組合長の下で副組合長を務めておりましたが、改めて組合長という職責が考えていた以上に重いものを受け止めております。

国の指導の下で一県一組合

を目指しての合併でありましたが、残念なことに未だにその結果は見えておりません。しかし6組合が参加した「酪農とちぎ農業協同組合」は合併により全国有数の酪農専門農協として14期目に入りました。その間、先輩諸兄の弛まぬ努力によって、いよいよもって安定期に入った感じがあります。一方生産者の方に目を向けると、約9割以上の家族型酪農経営は未だ満足していないのが現状かと理解しております。アベノミクスによる円安誘導策で輸出企業の方々には追風になり軒並対前年利益を更新しており、政府もうまくいったと評価してい

ます。しかし我々酪農家には凄まじいアゲンストの風が吹き荒れていますことは誰もが認めるところでしょう。その様な中で組合運営を進めて行く訳ですが、短期的には組合員と我々の指導陣が共に現状の把握、良い点、悪い点を洗い出し共に研究する事で少しでも個々の経営が上向いて、酪農という仕事が素晴らしい職業であると思っ頂けるよう努力します。組合にいる約30名の指導員は能力の高い人材が揃っておりますので、利用して頂ければ必ずや良い方向にもっていきます。

また、長期的に我々の酪農・畜産経営も輸入に頼り、不安定な経営を選択することなく、自前の飼料で自給率を高めて行くことが重要かと思えます。日本の農業政策は、米が中心

でありましたが、いよいよもって水田の利活用到我々の畜産・酪農家にも門戸を開きその一部でも利用させてもらう(飼料稲、転作飼料作物、飼料米等)べきだと思えます。その様な観点から考えると、当然個々の経営の拡大は時代のニーズであるでしょう。後に続くものにスムーズにバトンタッチをするために、我々の組合でもコントラクターも力を入れて行かなければならないと考えております。労働の分散、投資資金の削減がそれらによって叶えられ、家族経営の安定が図られ組合員全員が笑顔でいられることを最大の努力目標として組合運営を図っていく気持ちです。よろしくご指導いただけます様お願い申し上げます。



# 新役員紹介

菊池組合長の関東生乳販連会長就任に伴い、7月31日開催の理事会に於いて新執行体制が発足いたしました。菊池組合長は理事長職（非常勤）、坂主副組合長は組合長職（常勤）、臼井理事が副組合長職（非常勤）に新たに選任されましたのでお知らせ致します。



副組合長理事  
臼井 勉



代表理事組合長  
坂主 正



代表理事理事長  
菊池 一郎



理事  
岡田 建史



理事  
大瀧 信夫



専務理事  
赤堀 誠



理事  
田代 和一



理事  
滝沢 悦郎



理事  
仙波 吉雄



理事  
菊地 右



理事  
金田 修一



代表監事  
熊谷 貞二



理事  
南條 弘充



理事  
松山 秀夫



理事  
蓮見 晴明



理事  
根本 壽一



女性会本部会長  
越井 幸子



青年部本部部長  
小針 勤

また、組織活動事業では、青年部本部部長に小針勤氏、女性会本部会長に越井幸子氏が今年度より新たに就任しておりますので併せてお知らせ致します。



監事  
山口 文男



監事  
長浜 金一郎



監事  
高瀬 賢治



# 東西南北

## 那須高原支所

### 野外パーティー開催

8月5日、毎年恒例の支所活動推進協議会主催・野外パーティーが開催されました。

協議会も新体制となり、田代和一会長の挨拶、南條弘充副会長による乾杯の発声で、バーベキューが始まりました。しかし、那須高原支所の野外パーティーはバーベキューだけではありません。各種イベント盛りだくさんとなっております。

前半は、地域密着シンガーソン



グライター「Laugh (ラフ)」によるライブです。ライブ中、ファンがステージ上に押し寄せ、ラフのバックダンサーとなる場面もあり、会場全体を非常に盛りあげてくれました。昨年は雨で中止となっていました。去年は雨で中止となっていた声もありませんでしたが、時間の都合上喝采の中ライブ終了となりました。

後半には、

お子様対象  
花火セット  
の大盤振舞  
いじゃんけ  
ん大会。支  
部(班)対  
抗競技は3  
種混合障害  
物競走(牛



乳早飲み、パン食い競争、借り物競争)を支所選抜のつわものが体をぶつけ合いながら競いました。最後は、協賛各社提供のお楽しみ抽選会。豪華賞品獲得のため、こちらも大変盛り上がりました。

総勢500名の大パーティーも予定した行事をすべてこなし、撤収も手際よく終え、楽しかったひと時の余韻を残しながら、一大イベントが終了。と同時に雨が降り

出し、一日が無事に終了しました。

## 宇都宮支所

### 酪農セミナー開催

7月30日、支所活動協議会主催

酪農セミナーが宇都宮支所研修室にて開催されました。「私達の経営内でまかない得る可能な『雇用』についてみんなで考えてみましょう」と題し、松井実支所協議会長を座長に、より身近に雇用について考えてもらえるよう、実際に雇用を行っているコージョーファーム(株)大瀧信夫氏、皆川美範氏をパネラーに迎え、雇用のきっかけや経験談などを話していただき、実際の求人方法や雇用に係る補助事業等の説明も交え、参加された方々も自分の経営内での『雇用』について考えていただけたと思います。



また、今回、川嶋業務部長にも同席をいただき、酪農とちぎアグリサポートの現状や今後の展望等について話をいただき有意義な

セミナーとなりました。

## 支所全体交流会開催

8月6日、今年も夏空の下、支所活動推進協議会主催宇都宮支所全体交流会を開催致しました。夏休みのこの時期、多くのお子様連れでの参加があり、真夏のギラつ



いた太陽の下、バーベキュー、お子さん向けにスイカ割り大会、抽選会を行いました。

松井実会長の挨拶の後、来賓挨拶として白井勉新副組合長から新役員としての抱負や思いをお話しいただき、牛乳での乾杯の後、各地域毎に分かれてのバーベキューがスタートしました。

バーベキューを堪能しお腹が満腹になったところで、子供達の楽しみ！スイカ割り大会を行いました。逆になかなかスイカが割れず盛り上がりはイマイチでした。逆にスイカを冷やすために用意したビニールプールでは、パンツ1枚で



はしゃぐ子供達の水遊び場となり  
大人気となりました。

今後も、より多くの組合員の皆  
様に参加していただくと共に、楽  
しんで交流を図って頂けるよう支  
所協議会内で検討し、企画立案し  
てまいります。

## 県南支所

### 支所全体研修会を開催

7月30日、支所活動推進協議会  
(会長根本壽一氏)主催による研  
修会を県南支所にて開催し、39名  
が参加しました。今回の研修は、  
技術顧問であります齋藤達夫氏を  
講師として、「今やるべきことは  
何か」との題目で講演を頂きました。



齋藤顧問からは、今やるべきこ  
ととして、以下九つの事柄につい  
て説明を受けました。①適正管理

による乳量の向上法として、検定  
成績の活用、疾病事故を減らす事  
での産次数の増加。②自給飼料の  
増産法として、地域にあった品種  
の選定、播種後の土壌検定をもと  
にした適正施肥。③乳量、BCS  
に合った飼料設計の見直し。④適  
正な搾乳による乳房炎の防除、体  
細胞10万の減少に対して1頭当た  
りの年間乳量が五百キロ増加しま  
す。⑤繁殖を良くするための発情  
の発見、1日数回は牛舎に行き、  
牛の行動と発情のサインを確認し  
ましょう。⑥快適な飼養環境への  
改善、牛が自然に食べ、飲み、寝  
て、反芻する環境を整える事で、  
ストレス軽減、生産能力向上に繋  
がります。⑦削蹄による蹄病対策  
等、疾病予防による生涯生産性の  
向上。⑧細霧、牛舎屋根への石灰  
散布等による暑熱対策。⑨性別別  
精液利用による乳メス牛の確保、  
低能力牛への和牛受精卵移植によ  
る肥育素牛の生産等が主な内容で、  
非常に有意義なものとなりました。  
今回の講演は、齋藤顧問曰く10  
の知識より1つの「行動」との事  
で、組合員の皆様には学んだ事を  
知識に留めず、是非行動に移す事  
で、今後の経営改善の一助にして  
頂きたいと思えます。



## 業務部

### 第43回全国酪農青年女性酪農発表 大会開催



八木沢直人氏

全国酪農  
青年女性会  
議及び全酪  
連主催によ  
る第43回全  
国発表大会  
が、去る7  
月17日、18  
日に宮城県仙台市の「ホテルメト  
ロポリタン仙台」において、全国  
各地の酪農家及び関係者約600  
名が参加のもと盛大に開催されま  
した。

発表大会では、全国を代表する  
12名が発表され、関東甲信越代表  
として、栃木県から経営の部で八  
木沢直人さん(酪農とちぎ)と、  
意見体験の部で野口弘子さん(栃  
略)の2名が発表されました。

先ず、八木沢さんは「国産飼料  
を使った攻めの経営を目指して」  
と題し発表され、那須高原という  
立地特性を活かしたTMRセンター

の活用で、省力化と低コスト生産  
を実現している点を述べられました。  
また、飼料米や飼料稲の積極的利  
用をはじめ、発情発見システム導  
入による繁殖成績の向上に努めて  
おり、今後の目標として、飼料米  
の割合増によるコスト低減の追求、  
和牛体外受精卵の移植や、不耕起  
栽培による自給飼料生産への取組  
みについて述べられました。

次に、野口さんの発表では「夫と  
共に：仲間と共に：夢に向かって：  
走っています」と題し、発表されま  
した。酪農をはじめ「道の駅思川」  
でのジェラート製造販売、酪農体  
験学習の受け入れ、地産地消への  
こだわり、仲間との交流など、積  
極的に色々な活動を取り組まれて  
きました。また、「一生青春です。  
何でも良いから頑張ってみると感動  
があり、そして又何かに挑戦したく  
なります」その言葉がとても印象に  
残り、何事も前向きに考えていく  
ことの大切さを感じました。

翌日、審査講評と表彰式が行わ  
れ、最優秀賞は経営の部が東北代  
表者、意見体験の部で関東甲信越  
代表の野口さんが受賞されました。  
最後に、今回の発表大会へは、  
多数の酪友の方に参加・応援して  
頂き、誠にありがとうございます  
た。



● 乳牛飼養動態調査結果

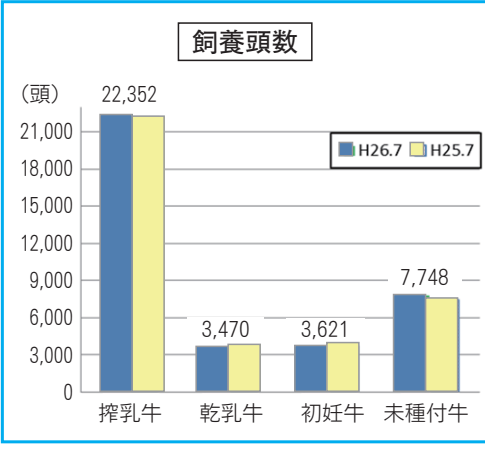
7月1日現在での乳牛飼養動態調査を実施した結果が取りまとめられましたので、以下の通り報告します。

1 出荷者戸数について

昨年7月の調査以降の酪農経営中止者は31戸、休止中の酪農経営が1戸復帰した為差引30戸減の47戸となりました。酪農中止の理由は、高齢や後継者がいない13戸、経営転換や他産業への転業が10戸(内経営不振5戸含む)、死亡・病気療養その他が8戸となっています。

2 飼養頭数について

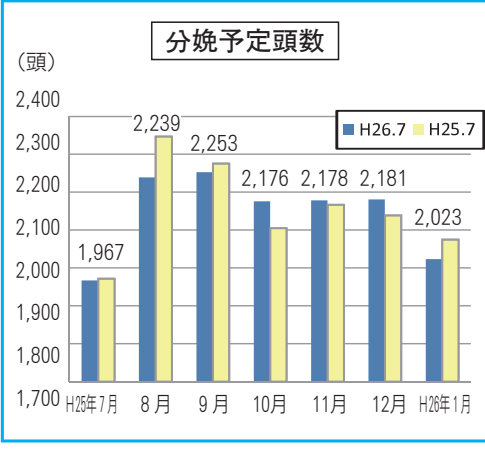
団体を除く総飼養頭数は前年7月より443頭(1.2%)増加し、3万7191頭でした。そのうち、経産牛は139頭(0.5%)増加し2万582頭、自家育成は134頭(1.6%)増加し822頭、外部預託牛については70頭(6.4%)増加し2847頭で、育成牛保有率は3



3 分娩予定頭数について

7月から1月までの分娩予定頭数は、前年同期実績と比べ64頭減少し、1万5017頭となりました。単月で見ると、8月が昨年実績より大きく落ち込み4.6%減となつていますが、10月は逆に3.4%増加しており、全体を通して前年より0.4%減少となりました。

また、品種別受胎状況はこの調査票に記載はございませんが、ホルスタイン種は7611頭の50.7% (昨年7823頭、51.9%)、交雑種は6459頭で43.0% (昨年6331頭、42.0%)、和牛(ET)は947頭で6.3% (昨年927頭、6.1%)となつており、ホルスタイン種が2.7%減少、交雑種及び和牛(ET)がそれぞれ2.0%、2.2%増加しています。



乳牛飼養動態調査表

(平成26年7月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数									育成牛保有率	1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛頭数	月別分娩予定頭数										
			経産牛			自家育成牛			外部預託牛						合計	(カッコ内は内数で性別別精液での分娩。H25.7は同月実績)									
			搾乳	乾乳	小計	初妊	未種付	初妊牛	未種付	合計	H25.7月					8月	9月	10月	11月	12月	H26.1月	合計			
那須高原支所	H26.7 (構成比)	296	14,026 (59.9%)	2,047 (8.7%)	16,073 (68.7%)	1,721 (7.4%)	3,590 (15.3%)	563 (2.4%)	1,452 (6.2%)	23,399 (100.0%)	31.3%	79.0	433	1,240 (46)	1,359 (57)	1,353 (59)	1,305 (65)	1,321 (56)	1,307 (58)	1,244 (64)	9,129 (405)				
	H25.7 (構成比)	317	13,530 (59.5%)	2,102 (9.2%)	15,632 (68.7%)	1,697 (7.5%)	3,463 (15.2%)	750 (3.3%)	1,200 (5.3%)	22,742 (100.0%)	31.3%	71.7	581	1,226	1,395	1,430	1,261	1,282	1,320	1,257	9,171				
	増減	▲ 21	▲ 496	▲ 55	▲ 441	▲ 24	▲ 127	▲ 187	▲ 252	▲ 657		7.3	▲ 148	14	▲ 36	▲ 77	44	39	▲ 13	▲ 13	▲ 42				
宇都宮支所	H26.7 (構成比)	83	2,995 (53.6%)	516 (9.2%)	3,511 (62.8%)	598 (10.7%)	1,100 (19.7%)	103 (1.8%)	275 (4.9%)	5,587 (100.0%)	37.2%	67.3	51	260 (19)	292 (23)	331 (24)	313 (24)	316 (19)	338 (32)	262 (9)	2,112 (150)				
	H25.7 (構成比)	88	3,121 (54.9%)	505 (8.9%)	3,626 (63.8%)	518 (9.1%)	1,169 (20.6%)	115 (2.0%)	255 (4.5%)	5,683 (100.0%)	36.2%	64.5	63	258	320	316	311	298	293	305	2,101				
	増減	▲ 5	▲ 126	▲ 11	▲ 115	▲ 80	▲ 69	▲ 12	▲ 20	▲ 96		2.8	▲ 12	2	▲ 28	15	2	18	45	▲ 43	▲ 11				
県南支所	H26.7 (構成比)	95	5,331 (65.0%)	907 (11.1%)	6,238 (76.0%)	494 (6.0%)	1,019 (12.4%)	142 (1.7%)	312 (3.8%)	8,205 (100.0%)	24.0%	86.3	29	467 (12)	588 (11)	569 (16)	558 (18)	541 (9)	536 (3)	517 (15)	3,776 (84)				
	H25.7 (構成比)	99	5,469 (65.7%)	956 (11.5%)	6,425 (77.2%)	480 (5.8%)	1,061 (12.7%)	125 (1.5%)	232 (2.8%)	8,323 (100.0%)	22.8%	84.0	23	488	632	530	533	587	526	513	3,809				
	増減	▲ 4	▲ 138	▲ 49	▲ 187	▲ 14	▲ 42	▲ 17	▲ 80	▲ 118		2.3	▲ 6	▲ 21	▲ 44	39	25	▲ 46	10	4	▲ 33				
小計	H26.7 (構成比)	474	22,352 (60.1%)	3,470 (9.3%)	25,822 (69.4%)	2,813 (7.6%)	5,709 (15.4%)	808 (2.2%)	2,039 (5.5%)	37,191 (100.0%)	30.6%	78.4	513	1,967 (77)	2,239 (91)	2,253 (99)	2,176 (107)	2,178 (84)	2,181 (93)	2,023 (88)	15,017 (639)				
	H25.7 (構成比)	504	22,120 (60.2%)	3,563 (9.7%)	25,683 (69.9%)	2,695 (7.3%)	5,693 (15.5%)	990 (2.7%)	1,687 (4.6%)	36,748 (100.0%)	30.1%	72.9	667	1,972	2,347	2,276	2,105	2,167	2,139	2,075	15,081				
	増減	▲ 30	▲ 232	▲ 93	▲ 139	▲ 118	▲ 16	▲ 182	▲ 352	▲ 443		5.5	▲ 154	▲ 5	▲ 108	▲ 23	71	11	42	▲ 52	▲ 64				
※1 団体	H26.7 (構成比)	3	29 (51.8%)	13 (23.2%)	42 (75.0%)	3 (5.4%)	11 (19.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	56 (100.0%)	25.0%	18.7	3	4 (0)	3 (0)	1 (0)	6 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)	22 (0)				
	H25.7 (構成比)	3	30 (41.1%)	13 (17.8%)	43 (58.9%)	10 (13.7%)	20 (27.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	73 (100.0%)	41.1%	24.3	27	2	10	4	3	4	4	2	29				
	増減	0	▲ 1	0	▲ 1	▲ 7	▲ 9	0	0	▲ 17		▲ 5.7	▲ 24	2	▲ 7	▲ 3	3	▲ 3	▲ 1	2	▲ 7				
合計	H26.7 (構成比)	477	22,381 (60.1%)	3,483 (9.4%)	25,864 (69.4%)	2,816 (7.6%)	5,720 (15.4%)	808 (2.2%)	2,039 (5.5%)	37,247 (100.0%)	30.6%	78.1	516	1,971 (77)	2,242 (91)	2,254 (99)	2,182 (107)	2,179 (84)	2,184 (93)	2,027 (88)	15,039 (639)				
	H25.7 (構成比)	507	22,150 (60.2%)	3,576 (9.7%)	25,726 (69.9%)	2,705 (7.3%)	5,713 (15.5%)	990 (2.7%)	1,687 (4.6%)	36,821 (100.0%)	30.1%	72.6	694	1,974	2,357	2,280	2,108	2,171	2,143	2,077	15,110				
	増減	▲ 30	▲ 231	▲ 93	▲ 138	▲ 111	▲ 7	▲ 182	▲ 352	▲ 426		5.5	▲ 178	▲ 3	▲ 115	▲ 26	74	8	41	▲ 50	▲ 71				

※1 団体出荷者数は高校1、大学2



# 生乳販売課

平成26年8月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し10.9%増(1万7934t)と、2年連続して前年を上回る生産です。累計の受入乳量は、那須高原支所5万8284t(前年比106.2%)、宇都宮支所1万378t(前年比98.8%)、県南支所2万1833t(前年比98.1%)、合計で9万3494t(前年比103.1%)となり、那須高原支所の生産量が大きく前年を上回る状況です。直近の生産動向は、那須高原支所は8月同様大きく前年を上回り、宇都宮支所は前年並み、県南支所は前年を下回る状況となっています。

出荷者数は、前年同月より25戸減の477戸(内、学校は3校)でした。また、8月度及び年平均乳質は、脂肪率、無脂固形分率については、前年を下回る状況が続いており、細胞数は前年より向上しております。

尚、8月迄の累計不合格件数は402件となり、前年(532件)を下回りました。

関東生乳販売連の8月総受託乳量は、生産量の減(22ヶ月連続)により、前年比98.0%と17.5%の減(前年比98.0%)と17.5%の状況です。

マインナス1万5879tの状況です。

乳生産量の用途別の販売数量は、生乳向けが前年比95.0%に対し、飲料向けが前年比95.5%と前年より3.6%と前年を上回る値です。尚、8月迄の累計値については、生乳生産量が前年比1.96%と若干上し、飲料向けが前年比1.7%と若干上

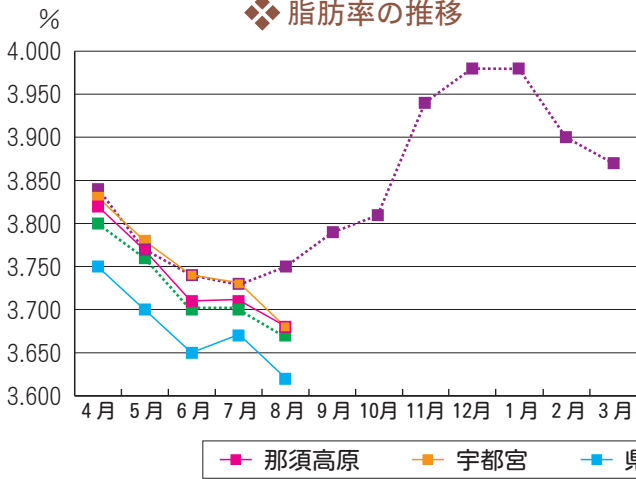
関東生乳販連用途別販売数量

(単位: kg・%)

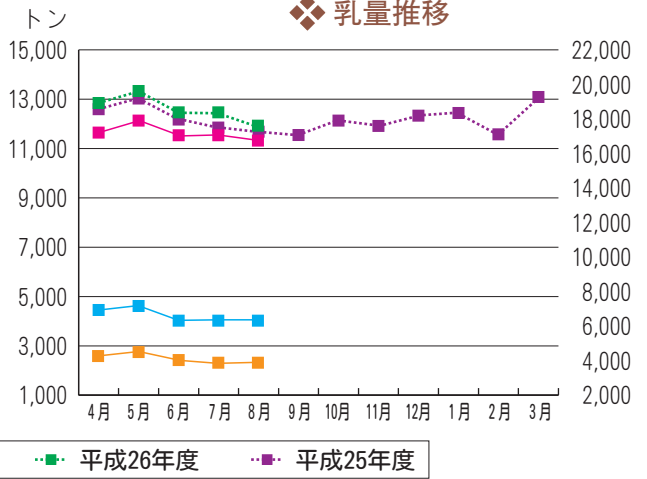
用途	8月実績	前年実績	前年比	累計実績	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	62,190,525	65,112,541	95.5	343,636,948	354,017,664	97.1
(うち学校向け)	682,127	629,120	108.4	44,125,561	45,550,494	96.9
はっ酵乳向け	13,725,948	14,110,644	97.3	68,008,296	71,277,108	95.4
特定乳製品向け(加工)	9,984,386	8,582,916	116.3	48,177,988	50,374,823	95.6
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,951,064	1,795,765	108.6	9,399,981	9,400,360	100.0
チーズ向け	60,382	62,536	96.6	278,172	310,369	89.6
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	87,912,305	89,664,402	98.0	469,501,385	485,380,324	96.7
加工比率	11.36	9.57	-	10.26	10.38	-

26%と前年(10.38%)を若干上りました。加工率については、干下回る状況です。また、全国の生産量(8月現在)は前年比98.6%と、北海道(99.4%)、北府県(97.7%)は依然として低調で推移しております。今後は、北海道の回復が予想され、北海道上昇が期待されます。尚、平成26年8月の用途別販売数量は、別表のとおりとなっております。

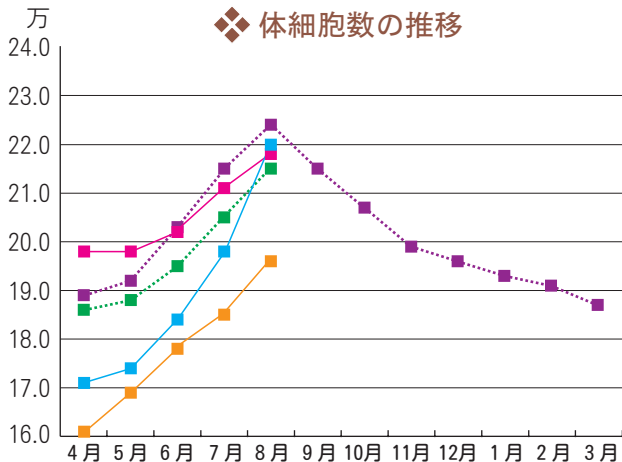
◆ 脂肪率の推移



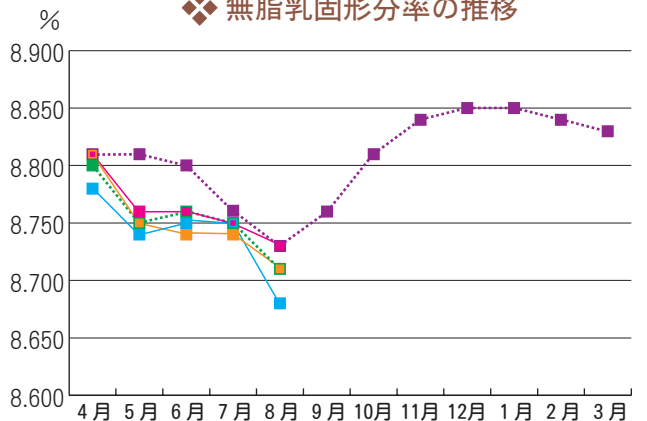
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



# 理事会だより

## 7月度理事会（7月31日）

### 報告事項

- (一) 業務経過報告について
- (二) 組合資金貸付について
- (三) 組合プール乳価について
- (四) 乳牛飼養動態調査結果について
- (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (六) 夏季手当の支給について
- (七) 子会社等の第1四半期事業実績について
- (八) 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- (一) 6月度及び第1四半期事業実績について
- (二) 固定資産の取得について
- (三) 執行体制について

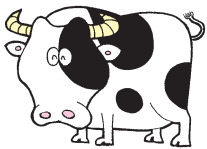
## 8月度理事会（8月29日）

### 報告事項

- (一) 業務経過報告について
- (二) 組合資金貸付について
- (三) 組合プール乳価について
- (四) 固定資産（土地）の賃貸について
- (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (六) 生乳生産管理チェックシート記帳・記録状況について
- (七) 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- (一) 7月度事業実績について
- (二) 酪農ヘルパー傷病時利用互助会規約の一部改正について
- (三) 組合と理事との契約について



## お知らせ



### 「栃木県酪農フェア」

2014

### 開催のお知らせ

毎年恒例となっております「栃木県酪農フェア」が以下の通り開催されます。  
皆様のご来場をお待ち申し上げます。

日時 平成26年10月18日(土)

9時30分～15時00分（雨天決行）

場所 栃木県畜産酪農研究センター

（那須塩原市千本松298）

主催 栃木県酪農協会

### 内容

- ・「消費者とのふれあいゾーン」
- ・バターづくり体験
- ・県産牛乳の試飲
- ・牛乳パック工作講座
- ・牛乳入り豚汁の販売
- ・手作りピザ教室等

「ミルクの国ゾーン」

- ・第25回栃木県ホルスタイン共進会
- ・酪農関連機械等の展示

その他楽しい催しが盛りだくさん

## 8月度 ホクレン初妊牛市場成績 [単位：千円（税込）]

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
南北朝道	8月8日	74	73	98.6%	537	11	11	651
豊 富	8月21日	297	254	85.5%	531	0	0	0
北 見	8月25日	470	325	69.1%	523	4	2	633
十 勝	8月26日	795	585	73.6%	551	106	101	682
釧 路	8月27日	263	133	50.6%	510	3	2	718
根 室	8月28日	473	356	75.3%	541	41	30	653
合 計		2,372	1,726	72.8%	536	165	146	674
前 月		2,215	1,601	72.3%	526	208	175	657
前年同月		2,256	1,642	72.8%	511	128	88	644

## 8月度 県内家畜市場成績 [単位：円（税込）]

市場名	種 別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最 高	最 低	平 均	前回比
那 須 (8/30)	ホルス雄	143	138	62	65,880	320	36,801	▲3,995
	F 1 雄	144	142	58	245,160	89,640	181,896	▲2,173
	F 1 雌	130	127	54	172,800	21,600	124,583	▲1,891
館 林 (8/27)	ホルス雄	3	3	73	54,000	35,640	44,640	5,760
	F 1 雄	9	9	99	294,840	227,880	264,840	19,140
	F 1 雌	11	11	97	234,360	164,160	203,629	21,469

初妊牛の今後の動向は、12月分娩腹が中心となります。導入の需要も増えるの見込まれており、特に道内の生乳生産量減による地元導入如何によっては、相場も大きく変動するものと思われます。導入を希望される方は、分娩腹の条件、価格等に十分余裕を持ってお申込み下さいますよう、よろしくお願い致します。

素牛相場や枝肉相場等の動向により、初生牛の取引価格は高値相場から若干落ち着いた傾向で推移しています。

